

■ On-Air 3000 ユーザーレポート

株式会社山陰放送 様

On-Air 3000



第2スタジオに2台目の On-Air 3000 を導入



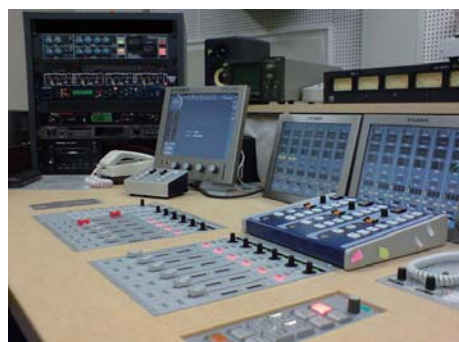
株式会社山陰放送
技術局 放送技術部
野坂 弘行・安藤 健二

山陰放送第2スタジオ

第2スタジオは、主にラジオ番組、テレビ・ラジオCMの収録を行う録音スタジオで、ほぼ毎日稼働しています。このスタジオのシステムは導入から19年目となり、老朽化等の問題により更新する事となりました。

機種選定

2005年に第5スタジオをOn-Air 3000で更新していましたので、同じ機種を導入する事が運用面からも、メンテナンス面からも有効であると考えました。また、この第2スタジオではオペレートに



技術スタッフが就かず、アナウンサーだけで収録することも多くあります。On-Air 3000は第5スタジオでの運用実績から、操作が簡単で分かりやすい点が評価されました。

システム

テレビのデジタル化と同時期の更新のため、予算削減を求められました。そのため、第5スタジオでの運用で、使用頻度の少なかったロータリーエンコーダをなくすなど、必要最小限のシステムとしました。また、電話インタビューなどについては、サブ内でワンマン収録できることも求められました。そのためのシステム設計はもとより、防音などサブ内の音響特性の改善も必要となりました。この改修についても実施をお願いしました。

操作性の面では、アナウンサーだけで使用する場合を考慮し、スナップショットを外部スイッチで読み出せるようにしました。特注品については以前と操作が同じとなるようにし、分かりやすく簡単なシステムとしました。

レイアウトについても、オペレーターの手がすべての機器に届くように配置し、あわせてQシート、DAWなどのコントローラーが置けるスペースも確保し、操作性の向上を図りました。

運用を始めてから

運用は工事完了した翌日から行いました。On-Air 3000の操作は既に第5スタジオで練れているということもあり、大きな戸惑いもなく使用することができました。現在、運用開始してから約1年が経ちますが、トラブルもなく安定稼働を続けています。

最後に、スチューダー・ジャパンの担当者様はじめ、工事担当の都通信様の熱心な取り組みにより非常に満足できるものとなりました。厚く感謝致します。

